

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年11月25日

計画の名称	高石市公共下水道整備計画（その２）（重点計画）（防災・安全）														
計画の期間	令和０２年度　～　令和０４年度　（３年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	高石市														
計画の目標	公共下水道施設の災害時における機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中で、ライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえた下水道施設の計画的な耐震・津波対策を推進する。 雨水管渠の整備を行い、都市浸水対策を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		403	A	403	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R3末	R4末
1	下水道による都市浸水対策の達成率を68.8％（R2当初）から69.6％（R4）に向上させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha）	69%	69%	70%
2	羽衣ポンプ場における耐震・津波対策したポンプ施設の割合を0％（R2当初）から100％（R4）に向上させる。			
	羽衣ポンプ場における耐震・津波対策したポンプ施設の割合 羽衣ポンプ場耐震・津波対策実施済み建築物/羽衣ポンプ場耐震・津波対策を実施すべき建築物	0%	66%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標の現況及び目標値 （当初）68.8％（中間）69.4％（最終）69.6％ （当初）0％（中間）66％（最終）100％												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高石市	直接	高石市	管渠（ 雨水）	新設	湾岸北部処理区 雨水管 渠整備事業	雨水管 φ300～1100, □700 ×700 L=1144m	高石市	■	■	■			151	-	-
	A07-002	下水道	一般	高石市	直接	高石市	ポンプ 場	改築	羽衣ポンプ場 耐震・津 波対策実施	耐震・津波対策工事	高石市	■	■	■			252	-	-
											小計						403		
											合計						403		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高石市にて実施	令和 6 年度
	公表の方法
	高石市のホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水管渠の整備を行い都市浸水対策の達成率を68.8%（令和2年度当初）から70.1%（令和4年度末）に向上させたことにより、家屋等の浸水被害の低減につながった。 羽衣ポンプ場のポンプ施設の耐震・津波対策を実施したことにより、災害時の機能停止を未然に防ぐことができる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き雨水管渠整備を進め、良好な水環境の創造に寄与していくほか、ポンプ場の耐震化等を行い日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防いでいく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	70%	
	最 終 実績値	70%	
2	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	